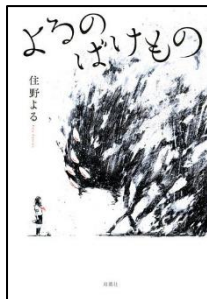


# 南高図書館だより

2023年9月号  
浦和南高校図書館

## 図書委員のおすすめ本



### 『よるのばけもの』

住野よる 著 双葉社

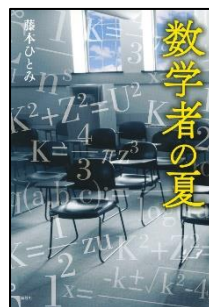
夜になると「ばけもの」になってしまう高校生といじめられているクラスメイトの少女の物語です。自分が平和に暮らすために見て見ぬ振りをする人や陰でいじめる人に対抗する人など、それぞれが弱さを内に秘めていて、正しく行動するのは非常に困難な事です。周りに合わせる正しさよりも自分が信じる正しさに基づき生きていけるほうが良いはずなのに、そのためには数え切れないほどの弊害や葛藤があって、そんなもどかしい気持ちになるお話です。ぜひ読んでみてください。

### 『お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件』

佐伯さん 著 SBクリエイティブ

学校で「天使様」と呼ばれている椎名真昼と同じマンションに住む藤宮周は特に関わりはなかったが雨の中ずぶ濡れになった彼女に傘を貸したことから不思議な交流が始まった。世話を焼く真昼だが、家族とのつながりに飢え、次第に心を開く真昼に周は少しずつ距離が縮めていく。

学校ではあまりパツとしない周と学校一の美少女の真昼という真反対の二人が徐々に距離が縮まっていくところが特に良かったです。一話ごとに展開が面白いので是非読んで欲しい作品だと思います。



### 『数学者の夏』

藤本ひとみ 著 講談社

数学の天才である高校生の上杉和典はひとりで証明に挑戦するため、長野の山奥で夏休みを過ごすことにします。これが後に和典に思いもよらぬ出会いをもたらすことになるのは誰も知らずに。このシリーズは青い鳥文庫の『KZ 事件ノートシリーズ』の数年後の世界が舞台となっています。懐かしのメンバーも出てきており、KZ シリーズの読者はより深く読み込めます。

## 図書館からのお知らせ

◆さいたま市立高校・中等教育学校・さいたま市図書館コラボ企画◆

## 第6回市立高校POPバトル開催中

市立高校3校と中等教育学校1校の生徒が選んだおすすめの本11冊を、高校生のオリジナルPOPとともに展示しています。もっとも本を読みたいと感じさせたPOPはどれか？ぜひ投票して、応援してください！



展示期間 令和5年9月1日(金)～9月29日(金)まで

※さいたま市図書館は9月30日(土)まで

展示場所 図書館内、2階中央廊下

投票方法 展示場所に設置された台紙にシールを貼って投票できます  
また、さいたま市図書館ウェブサイト※上からも投票できます  
※ <https://www.lib.city.saitama.jp/contents?pid=7763>



図書館内は原則、飲食禁止です。

水分補給はできますが、フタのできる容器で持ち込んでください。  
フタのできない缶ジュースや紙パック等は持ち込めません。





知識の本

東京のワクワクする大学博物館めぐり

大坪覚 著 トゥーヴァージンズ

大学のもつ博物館、美術館、水族館、資料館を110件紹介。独自のコンセプトの展示、建物自体が文化財など、本を眺めているだけでワクワク。ほぼ無料なので、散歩感覚で行ってみては。

さみしい夜にはペンを持って

古賀史健 著 ならの 絵 ポプラ社

学校に居場所がなく、自分のことが嫌いなタコジロー。不思議なヤドカリのおじさんから、ひとりぼっちの夜の過ごし方を教えてもらう。ペンを持って、心の長い階段を下りる冒険をはじめよう。

考古学者が発掘調査をしていたら、怖い目にあった話

大城道則、芝田幸一郎、角道亮介 著 ポプラ社

考古学者は時に、人骨と2週間過ごし、調査前には生贄をさばき、原因不明の熱病にかかり、砂漠で砂におぼれかける。エジプト、中国、ペルーで発掘調査をする考古学者たちの冒険譚。

ピッツァ職人

井川直子 著 ミシマ社

16歳で食べたナポリピッツァに衝撃を受け、18歳でナポリへ行った中村拓巳。差別や困難に見舞われながらも修行に励み、ピッツァ職人世界選手権の世界大会3位を果たす。人生をかけてピッツァを焼きつづけるひたむきな姿に、12年越しで迫った圧巻のノンフィクション。

るるぶオーストラリア '24

JTBパブリッシング

「るるぶオーストラリア」最新版。11月の研修旅行に向けて、現地の情報収集に。

大学選び 2024年版 入試と学部のいまがわかる本

進路コーナー

ユニバースケープ株式会社 編 日経BPコンサルティング 監修 日経BPコンサルティング

いま、世界的にも大学を取り巻く環境は大きく変わりつつある。これからの社会に必要な力を身に付けられる大学はどこか？全国の大学の新しい取り組みや教育改革の現状を紹介する。

昆虫の惑星 虫たちは今日も地球を回す

アンヌ・スヴェルトルupp=ティージェソン 著 小林玲子 訳 丸山宗利 監修 辰巳出版

ノルウェーの女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちについて語る。

★第69回(2023年度)青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部課題図書

パッケージデザインのひみつ いつも見ているパッケージには、デザインの工夫が満載

日本パッケージデザイン協会 監修 グラフィック社

世界一売れているトリックアートの、誰もが知っている赤い箱とは何のこと？ フタにヨーグルトが付かないひみつや、ペットボトルキャップに秘められた5つの工夫など、身近なパッケージデザインに込められた誰かの企みや思いの詰まったひみつを紹介する。

小説・文学

この夏の星を見る

辻村深月 著 KADOKAWA

2020年、コロナ禍で部活や登校に制限が多い中、オンライン会議を駆使して全国の天文部の高校生たちは繋がっていく。「スターキャッチコンテスト」の開催を目指して。

心臓の王国

竹宮ゆゆこ 著 PHP研究所

17歳の鬼島鋼太郎は、夏休みのアルバイトの帰り道、『せいしゅん』するために橋から川へ飛びこんで溺れそうになった「アストラル神威」と名乗る美青年を助ける。関わり合いになりたくないと思いつつも偽名を名乗って別れたが、後日、鋼太郎の学校へ「アストラル神威」が転入してくる。

腹を空かせた勇者ども

金原ひとみ 著 河出書房新社

陽キャ中学生レナレナこと玲奈は、母親が公然不倫中。大会を目指してバスケット部の練習に励んでいたが、母親の恋人の新型コロナ感染が発覚し、玲奈も大会に出場できなくなってしまう。

おいしそうな食事シーンも印象に残る、笑って泣いていっぱい食べる育ち盛りの少女の物語。

すべての瞬間が君だった きらきら輝いていた僕たちの時間

ハ・テワン 著 呉永雅 訳 マガジンハウス

愛や人生をテーマにした詩の本。すべての瞬間はさまざまな感情でできている。大切なひととの出会いや別れ、愛にまつわる瞬間にわき起こる鮮やかな感情を柔らかな色彩の絵と言葉で綴る。

文庫本

透明な夜の香り

千早茜 著 集英社

元書店員の一番は、古い洋館で「香り」を作っている朔に家事手伝いとして雇われる。鋭い嗅覚を持ち、どんな香りも再現できる朔だが、それゆえに深い孤独を抱えていると一番は気づく。

お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件 8

佐伯さん 著 SBクリエイティブ

文化祭が終わり日常が戻ってきた。周は真昼にプレゼントを贈るため、アルバイトを始めることにする。今回の「図書委員のおすすめ本」で紹介されたシリーズの最新刊。

卒業生には向かない真実

ホリー・ジャクソン 著 服部京子 訳 東京創元社

卒業間近のピップに、ストーカーによるものと思える嫌がらせが続いていた。6年前の連続殺人と似ている点に気づいたピップは調査を開始する。「自由研究には向かない殺人」「優等生は探偵に向かない」に続くミステリ三部作完結編。